

教育奨励賞 (末丸賞)



百田 龍輔

略 歴

平成6年6月 岡山大学医学部分子医化学教室 助手
平成12年3月 博士(医学)取得
平成15年2月 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 分子細胞発生生物学部門 博士研究員
平成17年4月 岡山大学大学院・医歯薬学総合研究科・人体構成学・助教
現在に至る

業績要旨

受賞者は解剖学教育や基礎病態演習を中心に、WebClass・Office365などのICTを活用した自習環境の整備、医学英語教育に取り組んできた。受賞者はH26年度の基礎病態演習の成績について解析を行い、学生の英語力がそのパフォーマンスに重要であることをつきとめ、そのための方策としてALCNetAcademy2の利用促進策の提言を行い、そのH27年度の実施にあたっては、学生に個別に対応するなどの活動を行ってきた。その結果、成績上位者ランキング画面の4割近くを医学科生が占めるなど医学科生のALCNetAcademy2の利用状況は著しく改善し、さらに基礎病態演習においてはこれまで3グループであった英語班は、H28年度は5グループに増えるなどの成果が見られた。

また、受賞者はH26年度基礎病態演習において、Active Learningの経験豊富なCalifornia Lutheran University Chad L. Barber先生を招聘し、基礎病態演習の達成目標の明確化と評価基準をより客観的・国際的なものとするために、共同で英語でのルーブリックを作成した。H27年度にはカリキュラム開発経費を獲得し、基礎病態演習のICT活用によるピアレビューシステムの導入を進めている。

受賞者は岡山大学のスーパーグローバル化と医学部の医学教育国際認証に向けた取り組みに貢献するために、講義のICT化とルーブリックの活用について、基礎・社会医学系教育企画委員の場を通じて積極的に発信を行っている。